

5198 久楽くらくの小さな旅：大原を訪ねる三つの思い

何よりも、久楽には、**四季折々、心安らく地**であり、**思い出の地**でもある。

学生時代、大原の奥、古知平・古知谷寺、**英語クラブの合宿**に参加。日本語は一切禁止。

日本でオリンピックが開催される。各学校で、英会話が盛んだった。

日本語は一切ダメということで、苦労した思い出がある。

二つ目は、同窓生の友人T氏が、**原典で綴る「平家物語」**の製作に着手。

俳優で同窓の**近藤正臣氏**も出演。大原寂光院では、**島田正吾**さんが出演される撮影に立会い、
スチール写真を担当させてもらった思い出がある。

製作者のT氏は、東京本社にて全国展開の会社経営者、力を貸していただいた。

大原、寂光院を訪ねると、当時の情景が思い浮かぶ。

彼のおかげで、島田正吾さんや、写真家の**秋山庄太郎**さんともご懇意にさせてもらった。

東京で大変お世話になっただけでなく、彼から学ぶことが多かった。

三つ目は、大原の里は、思い出の地であり、**迎古げふるには、やすらぎの里**。

四季折々、訪ねるのは、そんな背景がある。また、下記に、この日の足跡地図。

車から、ママチャリでの探訪に切り替えたのは、大原までは、上り。

「行きはよいよい、帰りは怖い」ではない。体力訓練のため、**心身健康のための大原もうで詣**。



雨上がりのお花畑とカタツムリ。下記地図は、この日の足跡地図。

雨に降られたが、思い出の楽しい1日になった。

